

【鬼首地区】鳴子温泉地域学校統合説明会 報告書

開催月日	令和4年12月8日(木) 午後7時00分～午後8時00分
開催場所	鬼首地区公民館
出席者	●地区住民 7名 ●教育総務課学校教育環境整備推進室 4名 ⇒小野寺参事, 鈴木係長, 佐藤主幹, 玉水専門指導員
概 要	【経緯】 ・令和3年度に開催した「鳴子温泉地域学校統合に関する合同検討委員会」において、4回の会議を通し、鳴子中学校を活用した小中一貫の義務教育学校として統合するという方向性が示された。 その方向性を踏まえ、令和4年4月～7月にかけて、各校を会場としての保護者説明会(意見交換会)を開催し、9月には保護者を対象としたアンケートを実施した。 今回、当該アンケートの結果も踏まえ、説明会の最終段階として、各地区での住民説明会を実施した。 【主な説明内容】 ・別紙資料を基に、合意形成までの流れ、児童生徒数の推移、義務教育学校の概要、そして保護者アンケートの結果について説明を行った。 【主なご意見等】 ○地区住民 ⇒教育総務課学校教育環境整備推進室 ◆参加者1 ○アンケートで反対意見の方はいなかったのか。 ⇒もちろん反対の方もいる。学校再編の考え方では、理解できないという方が全体の3.4%、合同検討委員会で示された方針(結論)についても3.4%の方が反対となっている。自由記載への回答の部分でも若干の反対意見がある。この結果から大多数の保護者の方にご理解いただいているものと受け止めている。 ◆参加者2 ○鬼首は学童がないため、川渡小学校へ通わせるというケースが結構ある。 ⇒可能性としてだが、統合後は川渡の学童を利用し、そこへ保護者が迎えに行くことも考えられる。こういった形が良いのか今後担当課と考えていきたい。 ◆参加者1 ○概ね鳴子中学校に統合するという方向で進むことになるのか。 ⇒保護者の意見はアンケート結果から見て取れる。今実施している地区説明会で大きな反対がなければ、そのようになると受け止めている。順調に進めば来年の3月または4月頃に統合準備委員会という組織を立ち上げ、2年間開校へ向けた準備を行い令和7年4月に統合校開校というイメージ

になる。

なお、川渡地区の説明会では、かつてのように、同じことの繰り返しにならないよう早く進めてほしいというご意見もいただいた。

◆参加者3

○本日、中学校へ行き、資料にある教室配置で出来るのか確認してきた。現状としては、図面の1年生、8年生、9年生の教室を教室に入れない子どもたちのエスケープゾーンとして利用しているとのことだった。この配置でやっていけるのか。職員室は現在きちぎちの状況。小学校の先生が入れるのか。

⇒資料の教室配置はあくまで暫定的なものとなる。統合の合意が得られれば、いろいろな意見を踏まえた中で、来年度設計に着手したいと考えている。その段階で、必要なスペースの確保が難しければ、増築等の検討もしなければならないと考えている。今のところは案の提示ということでご理解願う。

○1年生から9年生まで同じフロアということで、受験生となる9年生に影響はないのか。

⇒学校訪問等させていただいて、授業の様子等を見させていただいているが、入学当初とくらべて今時期になると低学年の児童であっても、だいぶ落ち着きをもって授業に取り組んでいるという印象をもっている。基本的に低学年だからずっと落ち着きがないというようなことは想定できないという認識でいる。

⇒先日、山形にある義務教育学校2校を視察してきた。そこで受験勉強への影響についても伺ったが、低学年の子どもが騒いで勉強に集中できないといったことは全くないというお話だった。今後もより良い学習環境を整えられるよう考えていきたい。

○学童について、いろいろな案があると思うが、川渡の児童館は老朽化が著しい状況となっている。担当課が違うのでこの場で回答はできないと思うが、閉園する川渡幼稚園の利用など考えていただきたい。

⇒ご意見として受け止めさせていただく。統合校が開校するまでの期間で、担当課と協議させていただく。また、児童館であったり学童クラブであったり、利用される保護者の方であったり、そういった方たちとの話し合いもしていかないと方向性は導き出せないと考える。

【まとめ】

学校統合への反対意見はなかった。